



ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）

〒680-0846 鳥取市扇町2-1番地

鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館内

TEL：0857(22)0578/FAX：0857(22)0593

URL：http://torikenjinkyō.sakura.ne.jp/

発行者 岡崎 周治

2024(令和6)年度

第8回鳥取県人権教育実践交流会

2月1日(土)に「第8回鳥取県人権教育実践交流会」を県民ふれあい会館で開催しました。

今回は、夏の「第49回人権尊重者会を実現する鳥取県研究集会」の第2分科会第1分散会でも報告をしていただいた 関金小学校 吉田 亘 教諭に実践発表をお願いしました。

「我がふるさとの課題に立ち向かった子どもたち」というテーマで、地元関金が抱える課題を自分たちに関わる問題として捉え、子どもたちなりに、地域の方々つながりながら改善策を考え実践し、反省してさらに次の実践へとつなげるという一年間を通した取組の内容を、研究集会よりも丁寧に報告していただきました。取組を通して、仲間づくりの大切

さや人としての生き方を学び、子どもたちが自分たち自身の力でたくましく成長していく様子が伝わってきました。ただ、そこには吉田先生の人権教育に対する深い思いと目標達成への学校生活全体を見通した綿密な計画、そして何より子どもたちを根気強く見守り支え続ける温かい愛情があるからこそその子どもたちの成長だと感じました。

参加者からもたくさんの質問や感想・意見をいただき、盛会のうちに終了しました。



2025(令和7)年度

第50回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 について

ふれあい190号では、期日等未定としておりましたが、以下の日程で研究集会の計画を進めております。皆様のご参加とご協力をお願いいたします。また、詳細が決まりましたら、連絡させていただきます。

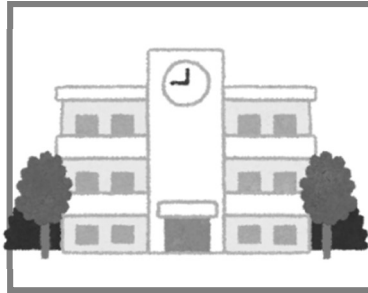
2025年(令和7年)8月1日(金) <午前:全体会、午後:分科会> 会場:鳥取市民会館 他

2024(令和6)年度

市町村人権教育行政担当者会の中止および活動状況調査について

2月21日(金)、「2024(令和6)年度市町村人権教育行政担当者会」を倉吉体育文化会館で開催を予定しておりましたが、荒天(大雪)が予想されたため、全県からお集まりいただくことを考慮し、交通や安全の面を優先させていただき、急遽中止といたしました。出席を予定していただいていた担当者の皆様、また、報告をお願いしていた琴浦町 田栗 恵子 様、たいへん申し訳ありませんでした。報告用に作成いただいたスライドは、貴重な資料として調査のまとめと共に配布させていただきます。

活動状況調査については、担当の皆様、ご協力いただき、ありがとうございました。それぞれの取組を参考にさせていただき、来年度の活動に生かしていただけると幸いです。



公開人権教育 LHR 学習参観

鳥取県立鳥取工業高等学校 人権教育公開 LHR

2025(令和7)年1月24日(金)

鳥取県立鳥取湖陵高等学校 人権教育公開 LHR

2025(令和7)年2月7日(金)

鳥取工業高校では、1年生の学習を参観しました。「子どもの権利条約」を扱った学習であることに正直驚きました。“様々な権利”、“意見表明権”あたりと児童生徒の生活指導というはざままで重要視されてない面もあるのではないかと思います。人権の視点で大切な学習にはまちがいありません。

先進国の多くでは権利条約が保障する権利を教えなければならないとされています。日常的に条文の掲示がしてある学校も多いとか。個々の生徒にも様々な背景があるとは思いますが、権利を自分事として考えることが難しい面もあるように感じました。日本の統計データ(子どもの自死が過去最高になったことや虐待、いじめの件数の多さ)や県教委が力を入れている性暴力に対する安全教育など、権利を脅かす現実が日本にはあります。このことを示して考えさせることも、生徒が「子どもの権利条約」を身近なものと感じやすいのではないかと感じました。

鳥取湖陵高校では、2年生の学習を参観しました。主題名「進路保障と就職差別(1)」でした。続きは(2)として、3年生の6月に学習予定となっています。2年生にとって、面接や面談は、半年後には直面する現実の課題です。同和問題について学んだ後ではありますが、同和問題に限らず、就職試験の採用基準とし不要、不適切、差別性のある質問項目はあります。学習は、3原則14事項を意識しながらそうした質問項目を見つける活動が中心でした。“自分は…”という個人基準は人によって異なりますが、公正採用という視点では不変なはずで。なぜその質問はだめなのか理由が言えるということも大切だと感じました。

東部高人研は、面接時の違反事項をなくしていく取組を続けておられます。一生を左右する面接試験で生徒が「その質問には学校の指導によりお答えできません」と言うことは難しいことではありますが、そこを目指して生徒を育てていくことは大切だと感じました。

(文責 石岡 和明)

県人教インスタグラムを開設しました

第50回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会に向けて県人教インスタグラムを開設しました。進捗状況、連絡やお願い、緊急時の連絡としても活用していきます。ぜひ、多くの方々にフォローしていただきますようお願いいたします。「県人教」で検索していただいてもよいと思います。

みなさんで広めていただけると幸いです。



県人教インスタグラム QRコード

編集後記

年度末の慌ただしいこの時期に、大きな動きがありました。2025年2月3日に厚生労働省「第34回高等学校就職問題検討会議」において、「全国高等学校統一応募用紙」についても検討され、その内容が厚生労働省のHPに掲載されました。20年ぶりに2026年度より改訂となる主な見直しの内容は、

- ① 履歴書(性別欄を削除、学歴・職歴欄を在籍校欄と職歴欄に変更、趣味・特技欄を削除 等)
- ② 調査書(身体状況欄を削除、押印を削除 等)

でした。全人教や関係団体からも文科省・厚労省へ要請行動を行ってきた「性別欄」が削除されることになりました。取組の大きな成果として評価しながら、今後の動きにも注目していきたいと思っております。

1年間たいへんお世話になりました。研究集会をはじめ、様々な会にご参加・ご協力いただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。来年度からの活動につきましては、不確定なことが山積みとなっており、皆様にもご迷惑ご心配をおかけしております。何とか第50回研究集会を開催できるように努力してまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご支援ご協力をいただきますようお願いいたします。(文責 古澤)